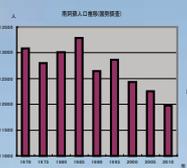


日本一の「村」づくりに向けて

南阿蘇村は熊本県の北東部に位置し、雄大な阿蘇山を北部に望み、広大な田園風景のある自然豊かな村です。
南阿蘇村は平成17年2月に旧白水村、旧久木野村、旧長隔村の3村により合併し誕生しました。この合併後も、「村」にこだわり、南阿蘇村では、村人本位の新しい村の将来像を描いていくとともに、日本一の「村」づくりを目指していきます。

「村」にこだわる

日本一の「村」づくりを目指している南阿蘇村も、日本の高齢化社会の流れを受け、人口は減少し、高齢化率も上昇し、高齢化時代を迎えています。そんな中、南阿蘇村では「村」にこだわり、村人が相互に交流を図り、自然環境・地域資源を総合的に活用しながら、村人1人1人が「わかふるさと」として胸を張れるような、活力あるむらづくりが進められています。



「村」の中松地区

中松は南阿蘇村の中心部に位置し、一心行の大桜、豊かな水源、南阿蘇鉄道のトロッコなど観光資源が豊富な地区です。
ですが一方、自家用車の発達により、多くの観光客が自動車で訪れるようになり、通過型の観光地として利用されており、目玉観光地の一心行の大桜だけに観光客が集中し、中松を通り過ぎてってしまうのが現状です。
さらには、後継者不足のために農林業は廃れ、まち中心部においても歩いている人々が少なくなっています。



中松地区の全体図



一心行の大桜



湧沢津水源

早春には野焼きをして馬や牛などを放牧しています。

広大な田園風景が一望できます。

水資源が豊富で各地に水源があります。

春には一心行の大桜が満開の花を咲かせます。

南阿蘇鉄道ではトロッコが走っています。

大きな白川が流れています。



南阿蘇鉄道のトロッコ列車

課題



飛び石型観光

旅人は観光地という点を目的に訪れ、また次の点に行ってしまう、図のように点を訪れるだけで、その周囲にある地域の魅力や暮らしを知ることなく通り過ぎてしまいます。飛び石型になることで村人と旅人、暮らしと旅の接点生まれません、また観光要素の周囲だけが盛り上がっているように見え、地域全体として温度差があるように見えます。

村人と旅人の"温度差"

これまでの調査からすでに温度差が感じられました。村人へのヒアリングでは「一心行？ああ、最近人多いよね。」と旅人に関して無関心であり、旅人も飛び石型観光で村人に目を向けることがありません。

南阿蘇村が目指す「豊かな活力ある村づくり」「日本一の村」を実現するためにもこれらを改善する必要があります。

旅人と村人が居る空間は同じであるもののそれぞれが個々に存在しているため、その線が交わらない

活かしきれない魅力

旅人から、水源など中松の魅力を訪れたいと考えても場所がわからないためあきらめることが多いようです。マップや看板が整備されているにも関わらずこのような状況にあるのはそれらがうまく機能していないためと考えられます。

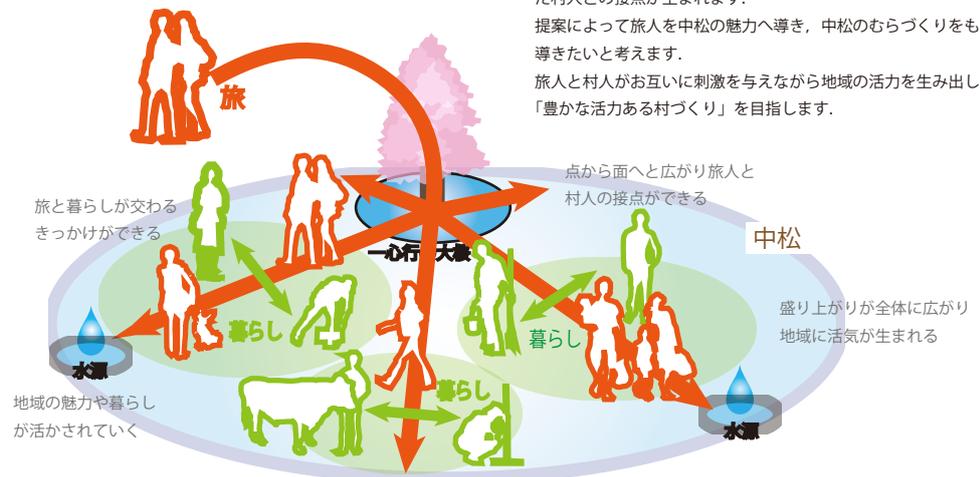
せっかくの魅力が活かされないままになってしまいます。

見えない活力

ヒアリングから、農業を営む住民が多く毎日の生活リズムは一定していることがわかりました。自然にも恵まれ良い暮らしを送れる中松ですが、旅人との接点が少ないため、その良さが伝わらず、地域としての活力が見えてこないため元気がないように思われます。

- 7:00 起床
- 8:00 朝食
- 9:00 仕事開始
- 10:00 (主に農作業)
- 11:00 昼食
- 12:00 仕事開始
- 13:00 (農作業の続き)
- 14:00 夕食
- 15:00
- 16:00
- 17:00
- 18:00
- 19:00
- 21:00
- 22:00 就寝

提案の方向性



提案をきっかけとしてこれまで点でしか訪れていなかった旅人を中松という面まで導く。そこでこれまで交わることのなかった村人との接点が生れます。提案によって旅人を中松の魅力へ導き、中松のむらづくりをも導きたいと考えます。旅人と村人がお互いに刺激を与えながら地域の活力を生み出し、「豊かな活力ある村づくり」を目指します。

旅人を中松の魅力へ中松のむらづくりを「導くもの」▶ 中松の村人と、旅人を繋げる「みちるべ」を利用する

みちしるべ「Aso Pad」

地域住民の暮らしと旅をスムーズに結びつけることができます。 — そう、Aso Pad ならね。

村人も旅人も使える多機能電子掲示板を中松各地に設置



— Aso Pad とは —

Aso Pad とは、住民も観光客も誰でも自由に利用することができるコミュニケーション型多機能電子掲示板です。
旅人も村人も、Aso Pad を通じて様々な情報を入手・発信できます。

■ 景観計画に沿ったデザイン

対象地が沿道風景地区に指定されていることから、沿道の景観を保護しつつ、阿蘇裾野である中松の風景に調和するデザインを選択します。

■ Aso Pad の管理・運営

1. 行政が Aso Pad を中松各地に設置します
2. Aso Pad 全体の管理は行政が行います
3. ホームページ自体は旅人や中松に訪れる村人によって更新されていき、運営されます

— 設置場所 —

中松では、主に村人が日常的に使うルートと旅人が観光地への行き来を使うルートは異なります。生活中心のルートと観光中心のルートを分けて考え、Aso Pad の必要な場所を見つけます。



■ 分かること

生活中心ルートと観光中心ルートで共通しているのは旧325号線

駅が中松の端々に位置し、玄関口としての役割を担っている

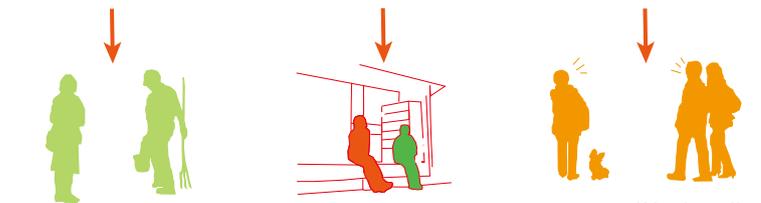
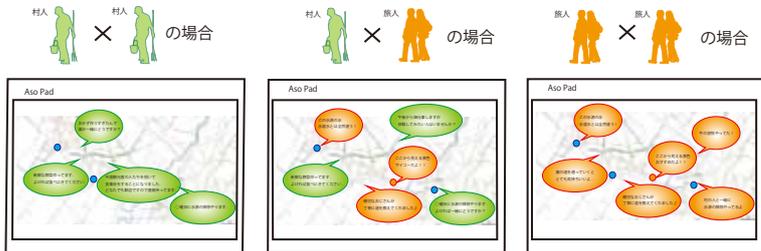


■ 配置の仕方

1. 中松の玄関口である駅や各観光地に設置
2. 生活中心ルートと観光中心ルートの共通部分でもあり、住宅が密集している旧325号線の交差点に設置
3. 旅人が迷いやすい所に設置

— Aso Pad の使い方 —

村人や旅人がそれぞれ感じたこと、情報を AsoPad で発信することで、今までにないつながりが形成されていきます。



清掃活動や婦人会など、地域で行われる活動やイベントなどを村人に知らせ、村人同士のつながりがより密になっていきます。

Aso Padを見て訪れたお宅で旅人と村人の軒先での会話など、村人には何気ないしかし旅人には新鮮なコミュニケーションが生まれます。

Aso Padを見て情報を知った旅人同士が出会い、共通の目的をもって中松内で行動するなど新しい中松の楽しみ方を旅人が見つけます。

村人
小さな楽しみを見つけられる Aso Pad

旅人
さらなる中松の魅力を教えてくれる Aso Pad

1. AsoPad への書き込み

中松を訪れた旅人は、その場所で感じたことやあった出来事などを書き込み、中松の村人は日常生活のことや、中松で行われる活動の情報を書き込みます。

2. 情報の共有

AsoPad への書き込みを見て、その場所へ行ってみたいという気持ちを掻き立てます。また村人は、日ごろは感じない旅人ならではの地元への目線を知ることができます。

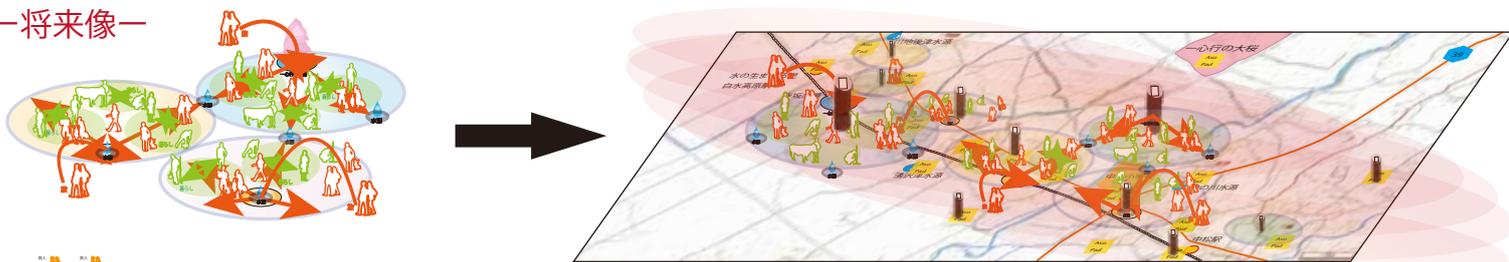
3. さらなる AsoPad への書き込み

他の人の感想や口コミ、情報を見た人がさらに AsoPad へ書き込みます。これらの書き込みが盛り上がり、会話が生れ実際に会って話をする人も出てくるかもしれません。

4. AsoPad をきっかけとしたつながり

村人からも旅人からも、AsoPad への書き込みが増えることで、中松のいろいろな目線からの情報やつながりが増え、中松での活動が活発になっていきます。

— 将来像 —



- 旅人 × 旅人
 - 旅人 × 村人
 - 村人 × 村人
- のつながりが徐々に大きくなります

それが中松全体へと広がり、Aso Pad を通じて旅と暮らしを包みます